

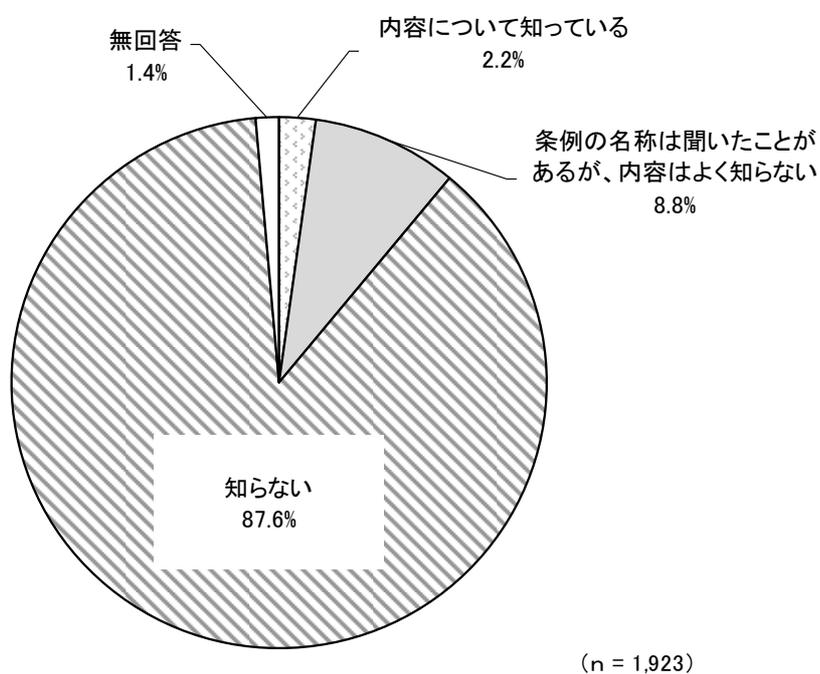
7. 認知症

(1) 「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」の認知度

◎ 「知らない」方は9割近く

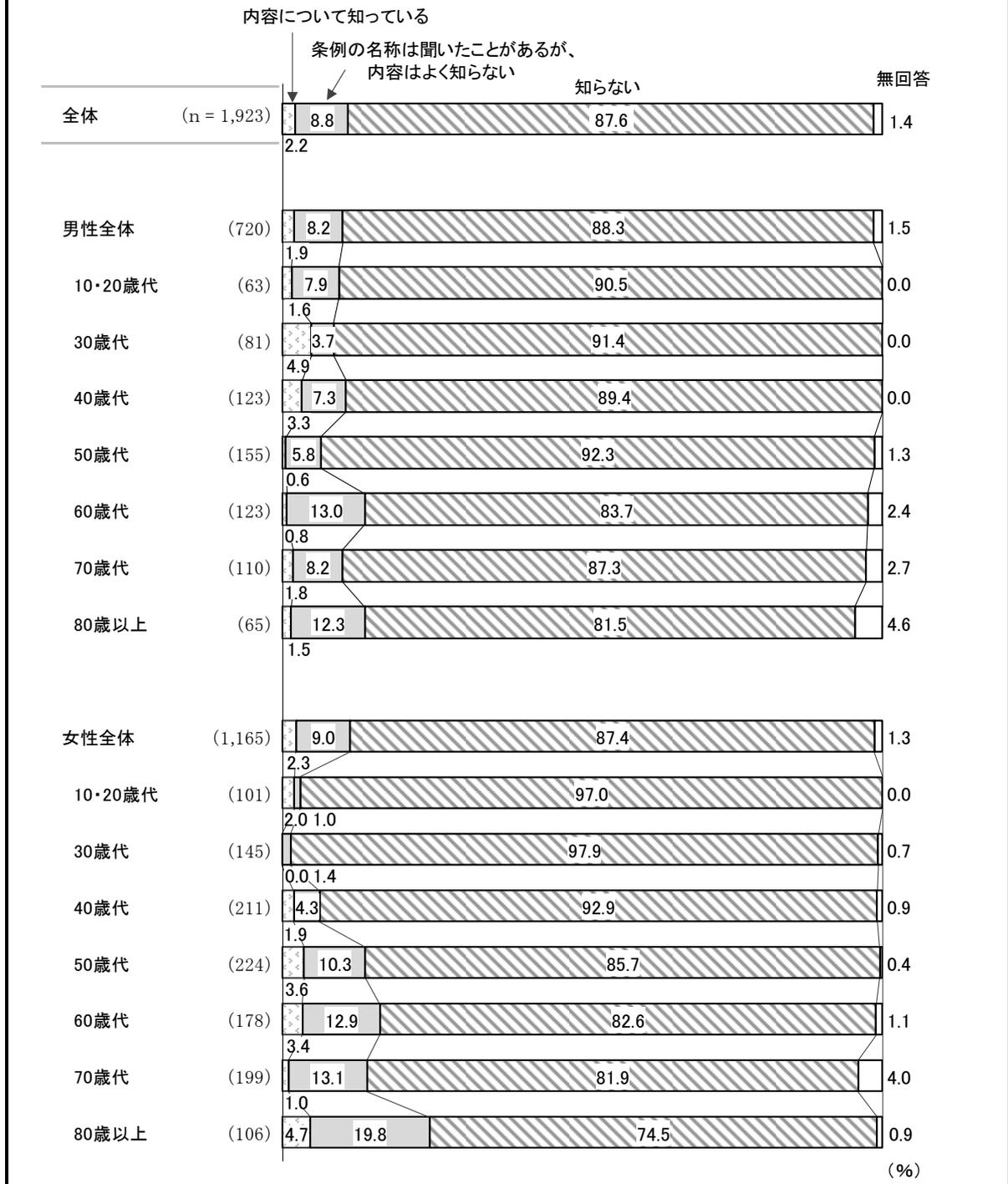
問19 区では、一人ひとりの希望及び権利が尊重され、ともに安心して自分らしく暮らせるまち、世田谷を目指して、令和2年10月に「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」を施行しました。あなたは、この条例を知っていますか。(○は1つ)

図7-1-1



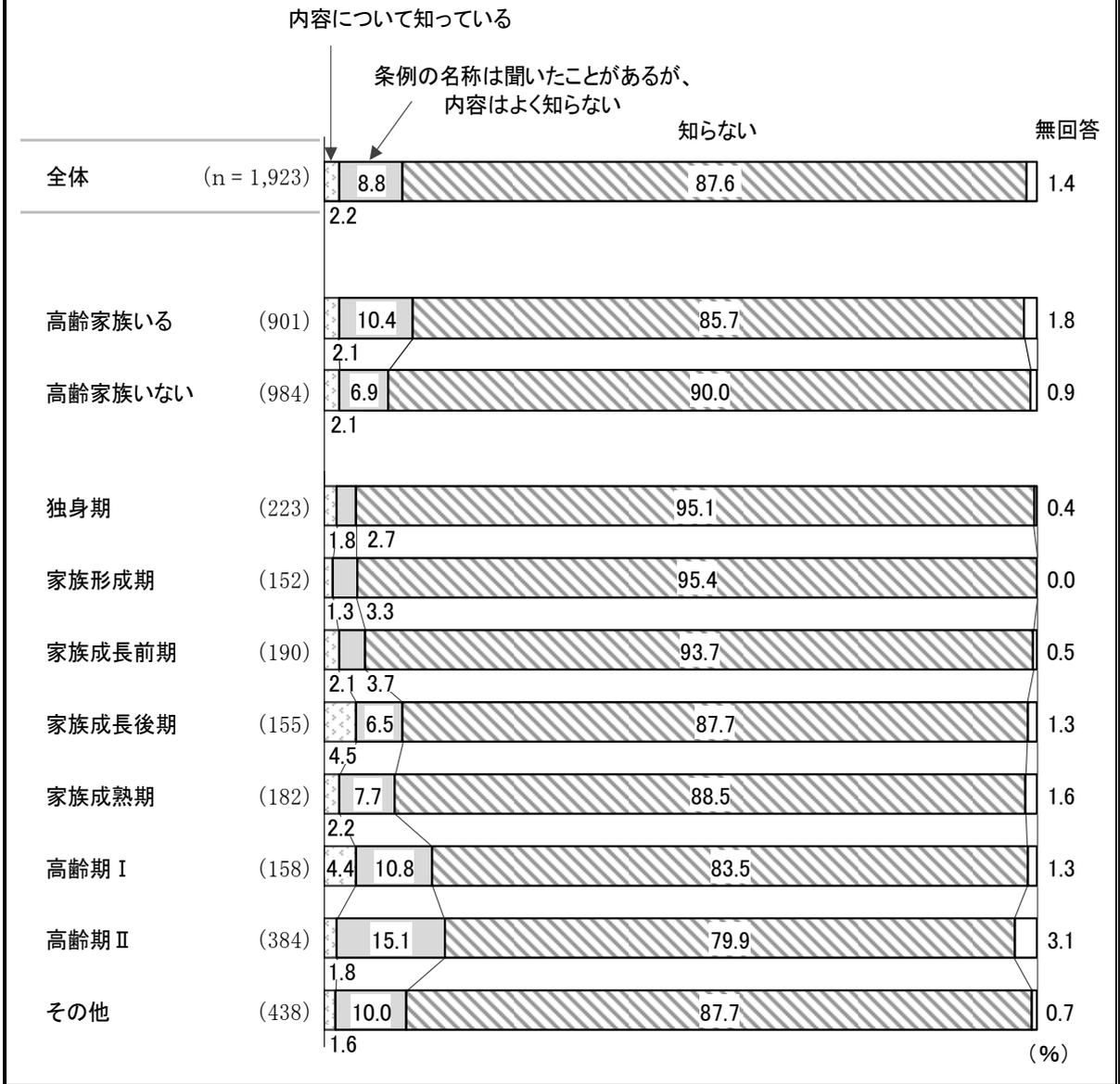
「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」の認知度を聞いたところ、「知らない」(87.6%)が9割近くと最も高く、「条例の名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」(8.8%)、「内容について知っている」(2.2%)と続いている。(図7-1-1)

図 7-1-2 「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「条例の名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」は、女性の80歳以上で2割となっている。（図7-1-2）

図 7-1-3 「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」の認知度
(高齢家族の有無別・ライフステージ別)



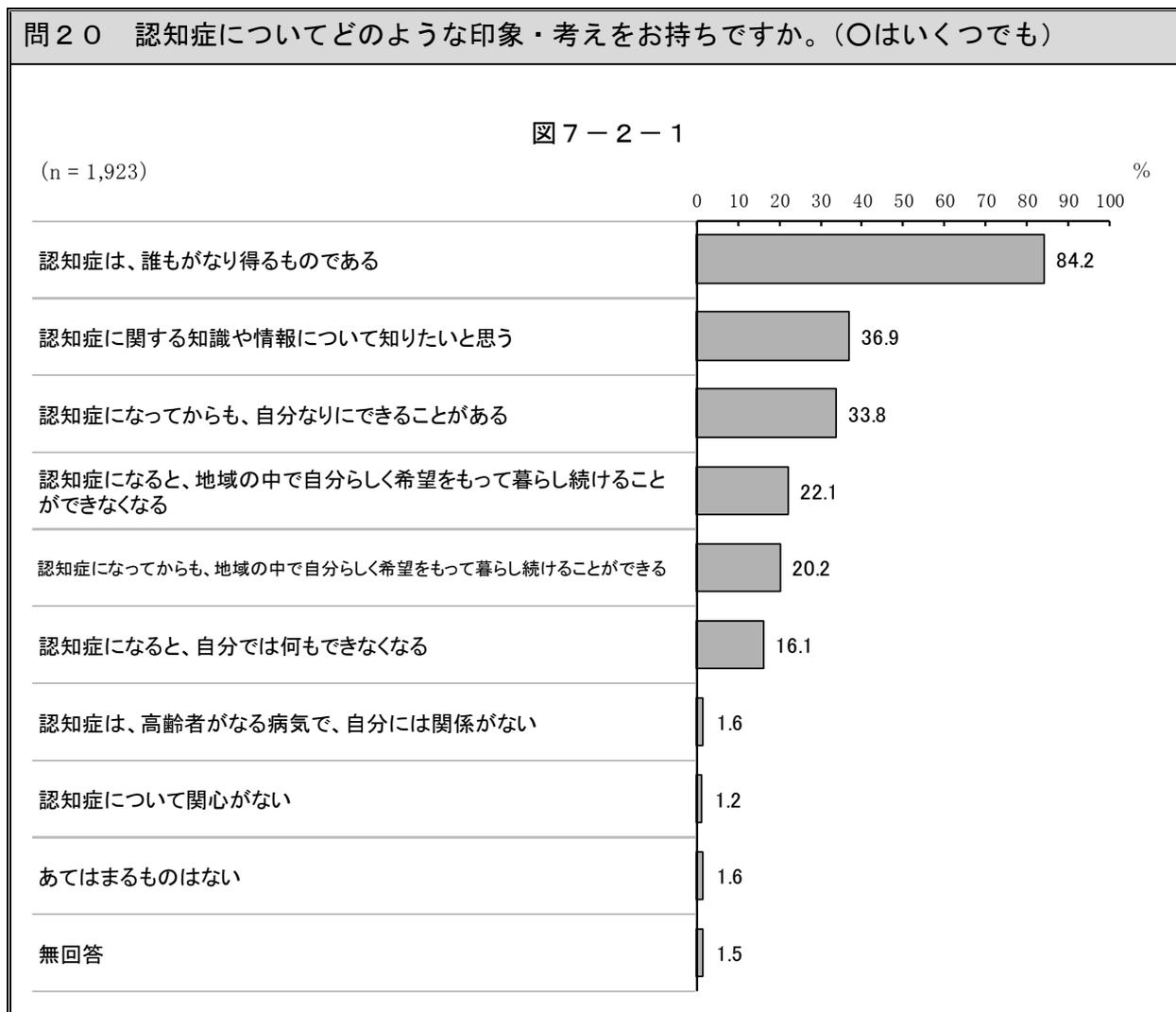
高齢家族の有無別にみると、大きな違いはみられない。

ライフステージ別にみると、「内容について知っている」、「条例の名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」を合わせた《知っている》は高齢期Ⅱで2割近くと、やや高くなっている。

(図 7-1-3)

(2) 認知症についての印象

◎ 「認知症は、誰もがなり得るものである」と考えている方が8割半ば



認知症についてどのような印象・考えを聞いたところ、「認知症は、誰もがなり得るものである」(84.2%)が8割半ばと最も高く、「認知症に関する知識や情報について知りたいと思う」(36.9%)、「認知症になってからも、自分なりにできることがある」(33.8%)、「認知症になると、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができなくなる」(22.1%)、「認知症になってからも、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができる」(20.2%)と続いている。(図7-2-1)

表7-2-1 認知症についての印象（性・年齢別）

（％）

区分	n	認知症は、誰もがなり得るものである	認知症に関する知識や情報について知りたいと思う	認知症になってからも、自分なりにできることがある	暮らし続けることができなくなる	認知症になると、地域の中で自分らしく希望をもって暮らすことができる	認知症になると、自分では何もできなくなる	認知症は、高齢者になる病気で、自分には関係がない	認知症について関心がない	あてはまるものはない	無回答	
全 体	1,923	84.2	36.9	33.8	22.1	20.2	16.1	1.6	1.2	1.6	1.5	
性・年齢別	男性全体	720	83.8	34.0	28.8	20.8	17.5	18.8	1.7	1.3	2.1	1.5
	10・20 歳代	63	73.0	33.3	22.2	12.7	12.7	20.6	4.8	3.2	6.3	-
	30 歳代	81	86.4	33.3	24.7	23.5	8.6	28.4	6.2	1.2	-	-
	40 歳代	123	89.4	34.1	25.2	11.4	13.0	11.4	2.4	0.8	2.4	-
	50 歳代	155	85.8	37.4	21.9	23.9	13.5	21.9	-	0.6	0.6	1.3
	60 歳代	123	90.2	30.1	33.3	24.4	24.4	13.8	-	0.8	1.6	2.4
	70 歳代	110	77.3	30.0	39.1	25.5	23.6	22.7	0.9	-	2.7	2.7
	80 歳以上	65	73.8	41.5	36.9	21.5	27.7	13.8	-	4.6	3.1	4.6
	女性全体	1165	85.1	38.3	37.2	22.8	22.1	14.0	1.5	1.2	1.2	1.4
	10・20 歳代	101	80.2	42.6	18.8	23.8	12.9	16.8	7.9	3.0	5.0	-
	30 歳代	145	90.3	33.1	24.8	31.7	6.2	24.1	5.5	0.7	-	0.7
	40 歳代	211	85.3	37.0	24.2	23.7	12.8	17.5	0.5	1.4	-	0.5
	50 歳代	224	89.3	41.5	38.4	18.8	23.7	12.5	-	0.9	2.2	0.9
	60 歳代	178	88.8	33.1	49.4	20.8	29.2	9.6	-	0.6	0.6	1.1
	70 歳代	199	79.9	40.7	47.2	23.6	33.2	10.6	-	1.0	1.5	4.0
80 歳以上	106	76.4	41.5	54.7	18.9	34.9	7.5	-	1.9	-	1.9	

性・年齢別にみると、「認知症になってからも、自分なりにできることがある」は、女性の80歳以上で5割半ばとなっている。（表7-2-1）

表 7-2-2 認知症についての印象（高齢家族の有無別・ライフステージ別）（%）

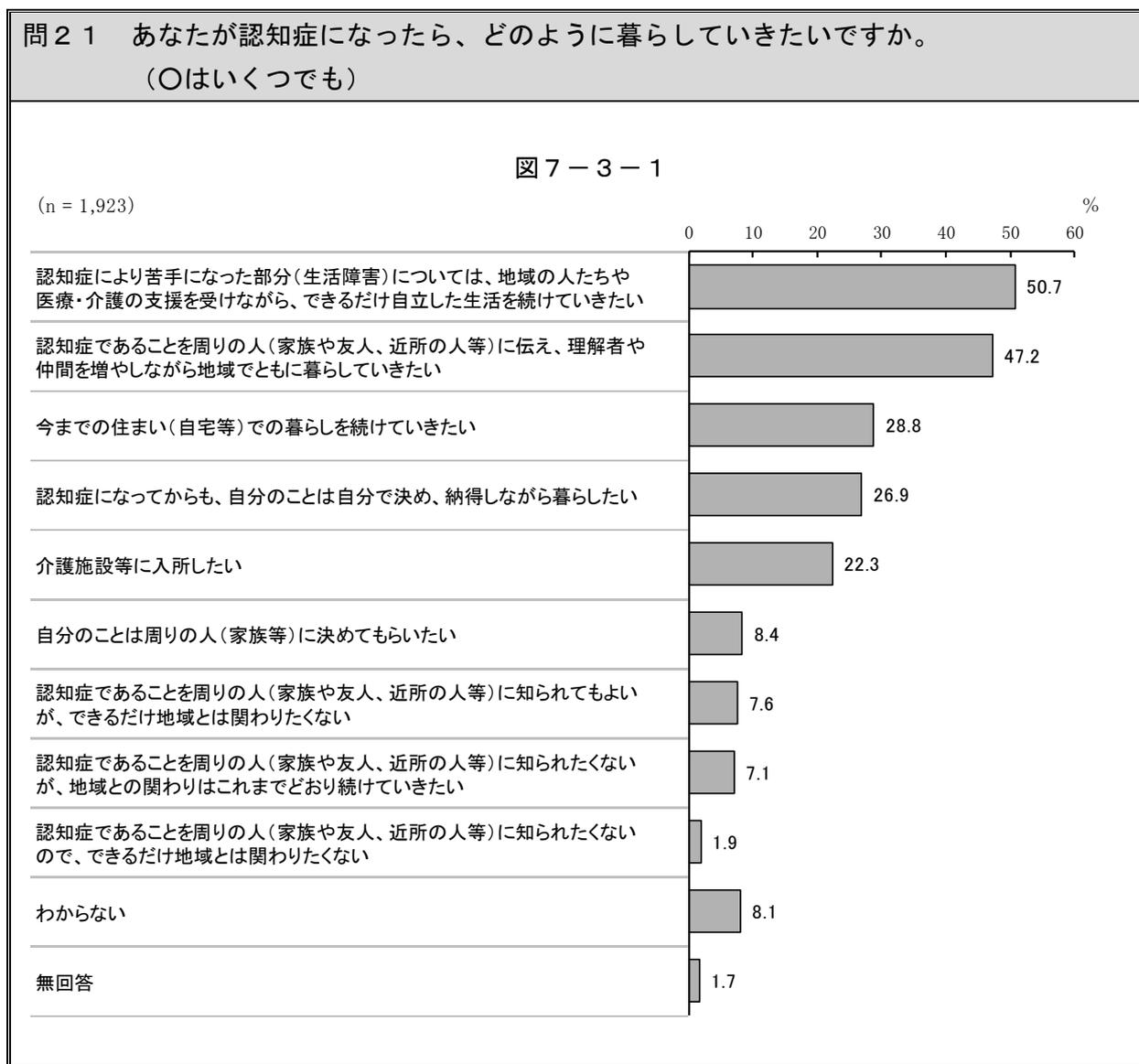
区分	n	認知症は、誰もがなり得るものである	認知症に関する知識や情報について知りたいと思う	認知症になってからも、自分なりにできることがある	認知症になると、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができなくなる	認知症になってからも、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができる	認知症になると、自分では何もできなくなる	認知症は、高齢者がなる病気で、自分には関係がない	認知症について関心がない	あてはまるものはない	無回答	
全体	1,923	84.2	36.9	33.8	22.1	20.2	16.1	1.6	1.2	1.6	1.5	
高齢家族の有無	いる	901	84.2	36.8	41.5	21.9	26.0	13.5	0.3	1.2	1.2	1.9
	いない	984	85.2	36.6	27.0	21.8	15.2	17.7	2.6	1.2	1.8	0.9
ライフステージ別	独身期	223	81.6	38.1	22.9	22.9	12.1	21.5	6.7	2.2	4.0	0.4
	家族形成期	152	84.9	31.6	24.3	23.7	9.9	22.4	5.3	1.3	1.3	-
	家族成長前期	190	89.5	36.8	22.1	21.1	7.9	15.8	2.1	1.6	0.5	0.5
	家族成長後期	155	87.1	41.3	34.2	18.1	19.4	13.5	-	-	0.6	1.3
	家族成熟期	182	89.0	37.4	33.5	26.4	20.9	15.9	-	1.6	1.1	1.6
	高齢期Ⅰ	158	84.8	32.3	48.7	19.6	33.5	10.8	0.6	1.9	0.6	1.3
	高齢期Ⅱ	384	79.4	39.6	42.2	24.2	29.4	13.3	-	1.0	1.3	3.1
	その他	438	85.4	36.3	34.9	20.5	20.3	16.4	0.2	0.7	1.6	0.9

高齢家族の有無別にみると、「認知症になってからも、自分なりにできることがある」は、高齢家族がいる方が4割を超えている。

ライフステージ別にみると、「認知症になってからも、自分なりにできることがある」は、高齢期Ⅰが5割近くとなっている。（表7-2-2）

(3) 認知症になった場合の暮らし方

◎「認知症により苦手になった部分（生活障害）については、地域の人たちや医療・介護の支援を受けながら、できるだけ自立した生活を続けていきたい」と考えている方がほぼ5割



認知症になった場合の暮らし方を聞いたところ、「認知症により苦手になった部分（生活障害）については、地域の人たちや医療・介護の支援を受けながら、できるだけ自立した生活を続けていきたい」（50.7%）がほぼ5割と最も高く、「認知症であることを周りの人（家族や友人、近所の人等）に伝え、理解者や仲間を増やしながらか地域とともに暮らしていきたい」（47.2%）、「今までの住まい（自宅等）での暮らしを続けていきたい」（28.8%）と続いている。

(図 7 - 3 - 1)

表7-3-1 認知症になった場合の暮らし方（性・年齢別）

（%）

区分	n	認知症により苦手になった部分（生活障害）については、地域の人たちや医療・介護の支援を受けながら、できるだけ自立した生活を続けていきたい	認知症であることを周りの人（家族や友人、近所の人等）に伝え、理解者や仲間を増やしながら地域とともに暮らしていきたい	今までの住まい（自宅等）での暮らしを続けていきたい	認知症になってからも、自分のことは自分で決め、納得しながら暮らしたい	介護施設等に入所したい	自分のことは周りの人（家族等）に決めてもらいたい	認知症であることを周りの人（家族や友人、近所の人等）に知られてもよいが、できるだけ地域とは関わりたくない	認知症であることを周りの人（家族や友人、近所の人等）に知られたくないが、地域との関わりはこれまでどおり続けていきたい	認知症であることを周りの人（家族や友人、近所の人等）に知られたくないので、できるだけ地域とは関わりたくない	わからない	無回答	
全体	1,923	50.7	47.2	28.8	26.9	22.3	8.4	7.6	7.1	1.9	8.1	1.7	
性・年齢別	男性全体	720	44.4	50.0	27.4	21.4	19.2	8.8	7.9	6.5	2.1	9.0	1.7
	10・20 歳代	63	27.0	50.8	12.7	15.9	14.3	12.7	12.7	3.2	-	11.1	-
	30 歳代	81	25.9	40.7	16.0	12.3	29.6	16.0	11.1	4.9	2.5	12.3	-
	40 歳代	123	38.2	48.0	18.7	21.1	12.2	6.5	5.7	4.1	1.6	13.0	-
	50 歳代	155	44.5	51.6	22.6	22.6	16.1	7.1	9.7	6.5	1.3	9.7	1.3
	60 歳代	123	49.6	56.9	32.5	21.1	22.0	5.7	4.9	4.1	2.4	6.5	3.3
	70 歳代	110	57.3	48.2	38.2	20.0	21.8	8.2	6.4	11.8	3.6	7.3	2.7
	80 歳以上	65	64.6	50.8	55.4	38.5	21.5	10.8	7.7	12.3	3.1	1.5	4.6
	女性全体	1165	54.8	45.5	29.8	30.1	24.4	8.1	7.3	7.6	1.5	7.5	1.5
	10・20 歳代	101	38.6	45.5	17.8	24.8	20.8	13.9	8.9	5.9	3.0	11.9	-
	30 歳代	145	51.0	44.8	19.3	27.6	28.3	8.3	10.3	2.8	1.4	9.0	0.7
	40 歳代	211	46.0	44.5	17.1	24.2	27.0	5.7	6.2	5.7	1.9	8.5	0.5
	50 歳代	224	54.0	42.4	24.1	25.0	25.0	5.8	5.8	8.0	1.3	10.3	1.3
	60 歳代	178	61.2	46.6	30.9	27.0	27.5	9.6	4.5	7.3	0.6	5.1	1.1
70 歳代	199	65.8	49.7	49.2	40.7	20.6	8.0	8.5	8.5	1.0	4.5	4.5	
80 歳以上	106	62.3	44.3	53.8	47.2	17.9	9.4	9.4	17.0	2.8	2.8	0.9	

性・年齢別にみると、「認知症により苦手になった部分（生活障害）については、地域の人たちや医療・介護の支援を受けながら、できるだけ自立した生活を続けていきたい」は、男性の80歳以上、女性の70歳代で6割半ばとなっている。（表7-3-1）

表 7-3-2 認知症になった場合の暮らし方（高齢家族の有無別・ライフステージ別）

(%)

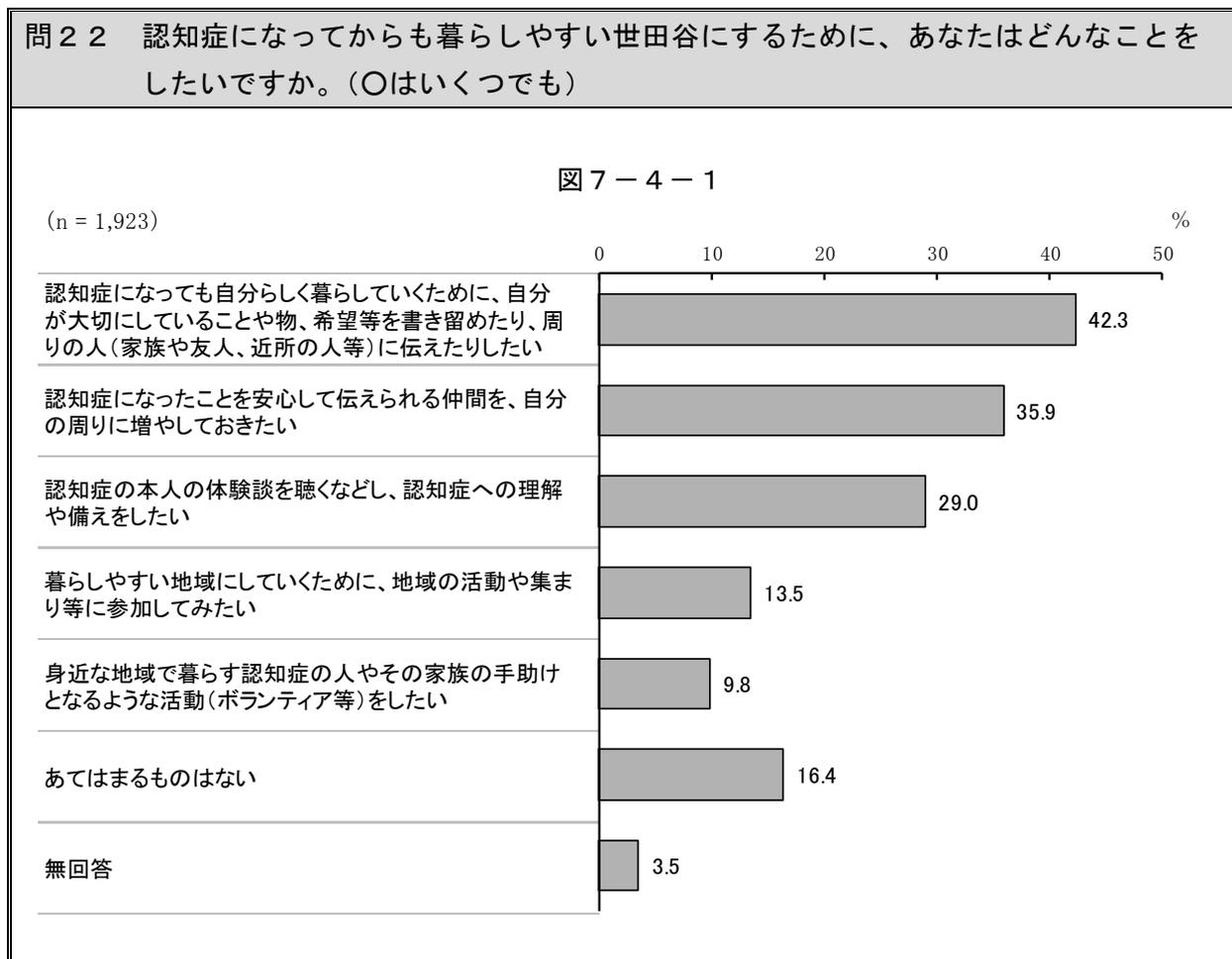
区分	n	認知症により苦手になった部分（生活障害）については、地域の支援を受けながら、できるだけ自立した生活を続けていきたい	認知症であることを周りの人（家族や友人、近所の人等）に伝え、理解者や仲間を増やしながらか地域とともに暮らしていきたい	今までの住まい（自宅等）での暮らしを続けていきたい	認知症になってからも、自分のことは自分で決め、納得しながら暮らしたい	介護施設等に入所したい	自分のことは周りの人（家族等）に決めてもらいたい	認知症であることを周りの人（家族や友人、近所の人等）に知られてもよいが、できるだけ地域とは関わりたくない	認知症であることを周りの人（家族や友人、近所の人等）に知られたくないが、地域との関わりはこれまでどおり続けていきたい	認知症であることを周りの人（家族や友人、近所の人等）に知られたくないで、できるだけ地域とは関わりたくない	わからない	無回答	
		介護の支援を受けながら、できるだけ自立した生活を続けていきたい	認知症であることを周りの人（家族や友人、近所の人等）に伝え、理解者や仲間を増やしながらか地域とともに暮らしていきたい	今までの住まい（自宅等）での暮らしを続けていきたい	認知症になってからも、自分のことは自分で決め、納得しながら暮らしたい	介護施設等に入所したい	自分のことは周りの人（家族等）に決めてもらいたい	認知症であることを周りの人（家族や友人、近所の人等）に知られてもよいが、できるだけ地域とは関わりたくない	認知症であることを周りの人（家族や友人、近所の人等）に知られたくないが、地域との関わりはこれまでどおり続けていきたい	認知症であることを周りの人（家族や友人、近所の人等）に知られたくないで、できるだけ地域とは関わりたくない	わからない	無回答	
全 体	1,923	50.7	47.2	28.8	26.9	22.3	8.4	7.6	7.1	1.9	8.1	1.7	
高齢家族の有無	いる	901	57.4	48.1	37.7	30.0	23.9	7.2	6.8	8.7	2.0	7.0	2.1
	いない	984	44.7	46.4	20.7	23.9	20.8	9.1	8.1	5.7	1.6	9.1	1.0
ライフステージ別	独身期	223	36.3	42.2	13.5	22.4	22.0	11.7	9.4	4.9	2.7	13.5	0.4
	家族形成期	152	41.4	52.6	18.4	19.7	26.3	11.8	11.8	3.9	2.0	6.6	-
	家族成長前期	190	46.3	46.8	20.0	18.9	19.5	6.8	5.8	3.2	1.6	9.5	0.5
	家族成長後期	155	49.7	44.5	21.3	27.1	19.4	6.5	9.0	7.1	1.3	9.0	1.3
	家族成熟期	182	51.6	50.5	23.1	21.4	21.4	7.7	7.1	7.7	0.5	7.1	1.6
	高齢期Ⅰ	158	61.4	48.7	46.8	32.9	21.5	8.9	7.0	8.9	1.3	4.4	1.9
	高齢期Ⅱ	384	62.0	49.0	45.8	36.5	22.4	7.3	7.0	10.9	2.9	3.9	3.6
	その他	438	49.8	45.9	26.7	27.4	23.7	6.6	6.6	6.2	1.6	10.0	0.9

高齢家族の有無別にみると、「認知症により苦手になった部分（生活障害）については、地域の人たちや医療・介護の支援を受けながら、できるだけ自立した生活を続けていきたい」は、高齢家族がいる方で6割近くとなっている。

ライフステージ別にみると、「認知症により苦手になった部分（生活障害）については、地域の人たちや医療・介護の支援を受けながら、できるだけ自立した生活を続けていきたい」は、高齢期Ⅰ、高齢期Ⅱで6割を超えている。（表7-3-2）

(4) 認知症になっても暮らしやすくするための活動

◎「認知症になっても自分らしく暮らしていくために、自分が大切にしていることや物、希望等を書き留めたり、周りの人（家族や友人、近所の人等）に伝えたりしたい」方は4割を超える



認知症になっても暮らしやすくするためにしたいことを聞いたところ、「認知症になっても自分らしく暮らしていくために、自分が大切にしていることや物、希望等を書き留めたり、周りの人(家族や友人、近所の人等)に伝えたりしたい」(42.3%)が4割を超えて最も高く、「認知症になったことを安心して伝えられる仲間を、自分の周りに増やしておきたい」(35.9%)、「認知症の本人の体験談を聴くなどし、認知症への理解や備えをしたい」(29.0%)、「暮らしやすい地域にしていくために、地域の活動や集まり等に参加してみたい」(13.5%)、「身近な地域で暮らす認知症の人やその家族の手助けとなるような活動(ボランティア等)をしたい」(9.8%)と続いている。(図7-4-1)

表 7-4-1 認知症になっても暮らしやすくするための活動（性・年齢別）（%）

区分	n	認知症になっても自分らしく暮らしていくために、自分が大切にしていることや物、希望等を書き留めたり、周りの人（家族や友人、近所の人等）に伝えたりしたい	認知症になったことを安心して伝えられる仲間を、自分の周りに増やしておきたい	認知症になったことを安心して伝えられる仲間を、自分の周りに増やしておきたい	認知症の本人の体験談を聴くなどし、認知症への理解や備えをしたい	暮らしやすい地域にしていきたいために、地域の活動や集まり等に参加してみたい	身近な地域で暮らす認知症の人やその家族の手助けとなるような活動（ボランティア等）をしたい	あてはまるものはない	無回答
全 体	1,923	42.3	35.9	29.0	13.5	9.8	16.4	3.5	
性・年齢別	男性全体	720	37.2	34.2	29.0	12.9	7.9	18.3	3.2
	10・20 歳代	63	36.5	36.5	23.8	12.7	1.6	19.0	-
	30 歳代	81	35.8	39.5	25.9	12.3	6.2	23.5	-
	40 歳代	123	36.6	39.8	36.6	7.3	10.6	11.4	3.3
	50 歳代	155	39.4	39.4	29.0	13.5	13.5	16.1	2.6
	60 歳代	123	35.0	27.6	20.3	11.4	6.5	22.8	4.1
	70 歳代	110	38.2	29.1	31.8	15.5	5.5	22.7	5.5
	80 歳以上	65	38.5	23.1	35.4	21.5	4.6	13.8	6.2
	女性全体	1,165	45.8	36.7	29.0	13.8	11.3	15.0	3.5
	10・20 歳代	101	43.6	43.6	23.8	11.9	14.9	19.8	-
	30 歳代	145	38.6	38.6	24.1	9.0	9.7	17.9	1.4
	40 歳代	211	48.8	37.4	32.2	11.8	12.8	14.7	2.4
	50 歳代	224	41.5	37.5	29.5	17.9	12.5	17.0	1.8
	60 歳代	178	48.9	29.2	28.7	11.8	10.1	11.8	3.9
	70 歳代	199	51.3	38.2	29.6	16.6	10.6	11.1	7.5
	80 歳以上	106	44.3	34.9	33.0	16.0	7.5	16.0	7.5

性・年齢別にみると、「認知症になったことを安心して伝えられる仲間を、自分の周りに増やしておきたい」は、女性の10・20歳代で4割を超えている。（表7-4-1）

表7-4-2 認知症になっても暮らしやすくするための活動 (高齢家族の有無別・ライフステージ別) (%)

区分	n	認知症になっても自分らしく暮らしていくために、自分が大切に行っていることや物、希望等を書き留めたり、周りの人(家族や友人、近所の人等)に伝えたりしたい	認知症になったことを安心して伝えられる仲間を、自分の周りに増やしておきたい	備えをしたい	認知症の本人の体験談を聴くなどし、認知症への理解や	暮らしやすい地域にいくために、地域の活動や集まり等に参加してみたい	暮らしやすい地域で暮らす認知症の人やその家族の手助けとなるような活動(ボランティア等)をしたい	身近な地域で暮らす認知症の人やその家族の手助けとあてはまるものはない	無回答
全体	1,923	42.3	35.9	29.0	13.5	9.8	16.4	3.5	
高齢家族別	いる	901	44.0	33.3	28.6	13.7	9.3	16.2	4.9
	いない	984	40.9	38.0	29.2	13.2	10.6	16.7	2.0
ライフステージ別	独身期	223	39.0	41.7	23.8	11.2	9.0	19.7	0.9
	家族形成期	152	42.8	34.2	27.0	13.8	9.9	18.4	-
	家族成長前期	190	41.6	41.6	30.5	10.0	10.0	15.8	2.6
	家族成長後期	155	45.8	40.0	30.3	14.8	15.5	10.3	1.3
	家族成熟期	182	44.5	33.5	28.6	14.3	12.1	15.4	2.7
	高齢期Ⅰ	158	48.7	28.5	27.2	17.1	9.5	20.3	3.8
	高齢期Ⅱ	384	46.1	33.9	30.2	15.1	7.8	13.3	7.6
	その他	438	37.0	36.5	31.3	11.6	9.8	17.4	3.2

高齢家族の有無別にみると、大きな違いはみられない。

ライフステージ別にみると、「認知症になったことを安心して伝えられる仲間を、自分の周りに増やしておきたい」は独身期と家族成長前期で4割を越えている。(表7-4-2)